

## 指定管理施設の管理運営評価票（評価対象年度：令和 4 年度）

施設所管部署	生きがい・交流部 文化振興課
評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日
評価対象年度指定管理料	1 1 5, 6 1 8, 0 0 0 円

## 1. 施設の概要等

施設の概要	名称	焼津市大井川文化会館
	所在地	焼津市宗高 8 8 8
	設置目的	地域文化の振興を図ることを目的とする
	設備の概要	(施設面積) 4, 8 6 3. 9 6 m <sup>2</sup> (施設内容) ホール、リハーサル室、体感ルーム

## 2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名称	公益財団法人焼津市振興公社 代表者 理事長 吉永 律子
	所在地	焼津市三ヶ名 1 5 5 0 番地
指定管理業務の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用の許可及び施設の供用に関する業務</li> <li>○使用料の収受に関する業務</li> <li>○施設及び附属設備の維持及び管理に関する業務</li> <li>○文化催事事業の企画・実施に関する業務</li> <li>○その他市長が必要と認める業務</li> </ul>
指定期間		平成 3 1 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日

## 3. 指定管理者業務運営項目評価

評価項目	指定管理者		文化振興課	
	自己評価	評価の理由	評価	評価の理由
1. 施設体制に関する評価	B	<p>協定書等に準拠した施設体制を整えており、利用者からの料金徴収、管理記録あるいは緊急時対応、法令等遵守などの各項目について遅滞・問題なく遂行している。</p> <p>利用者からの料金徴収等に伴う現金の取り扱いを最小限にするため入場料等及び会館使用料はキャッシュレス対応として PayPay による支払も可能としている。また、会館使用料は金融機関</p>	B	<p>焼津文化会館と同様に外部コンサルタントや社会保険労務士等の専門家により適切な指導を受けながら協定書に準じた体制を整えており、連絡調整や緊急対応について、適切に行われている。</p> <p>キャッシュレスサービスの導入については、職員による現金取り扱いを減らすとともに利用者の利便性向上等にも繋がり、市民目線に立</p>

		<p>に直接納付するよう市納付書を発行し、会館窓口での現金による納付は原則行っていない。現金を取り扱う場合は、取扱者以外の職員が検収を行い必ず2人以上の職員によるチェックを行っている。</p> <p>文化振興課との協議により、適切な新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施している。また、おおいがわ Akindo 事業協同組合や大井川商工会等と共催により、各種事業を開催しており、日程・内容について関係団体と綿密に打ち合わせを行っている。</p> <p>年間2回の消防訓練については会館常駐勤務している全職員（舞台操作業務、清掃業務、施設運転管理業務従事者含む）及び受託事業開催時ボランティアスタッフが参加し、火災発生場所は事前に知らせずに火災感知器盤の警報により訓練を開始し、より実戦に近い形式で行った。</p> <p>法令等遵守については公益法人コンサルタント、社会保険労務士と業務委託を締結し、その都度適切な指導を受けている。</p>		<p>った内容である。</p> <p>定期的実施している消防訓練では、毎回同じ訓練内容とならないよう工夫し、より実践に近い形式での訓練は、職員の緊急時対応のスキルアップにも繋がり評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、関係団体と「おおいがわフェア」等のイベントを開催するなど、焼津のブランド力の向上と市民が幅広い分野の芸術に触れ、楽しむ機会の充実が図れている。</p>
<p>2. サービス内容や水準に関する評価</p>	<p>B</p>	<p>令和4年度は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下に有ったが、年間利用者数は49,412人、施設全体稼働率は55.5%と対前年度それぞれ18,701人、3.9ポイント増加し徐々に以前の状況に戻る気配が感じられた。</p> <p>利用者の満足度についてはアンケート調査により貸館利用者からは95%、公演では95.8%とそれぞれ高い評価を得ることができた。</p> <p>芸術文化事業については、予定していた24本は予定通</p>	<p>B</p>	<p>近年、コロナ禍の影響により減少していた利用者についても、魅力的な事業の企画及び感染症対策を徹底することで、市民が利用しやすい施設環境の提供に繋がりがり、回復傾向にある。</p> <p>施設利用者アンケートでは、高評価を得ており、良好な水準を保っている。</p> <p>焼津文化会館との棲み分けを図り、地域密着型の事業を多く開催しており、志太榛原地区からの利用も多くみられた。</p>

		り開催し、追加公演として静岡県、焼津市との共催により「モンゴル国立馬頭琴交響楽団演奏会」を開催した。		
3. 収支等の評価	B	<p>隣接する金融機関に入場料等収入用口座、小口現金用口座を備えている。</p> <p>予算執行については公社会計規程に基づき3館（焼津文化会館・大井川文化会館・天文科学館）共通の会計システムを導入し、会計事務所の指導のもと適正に処理している。</p> <p>事業収支については、異動による職員構成の変更に伴う人件費の減額等により経費に不用額が発生し、芸術文化事業収支がプラスとなったため、電気料の高騰があったが、指定管理料不用額3,500千円を協定に基づき市に返還した。</p> <p>経営状況分析においては、自己資本比率・流動比率等も安定しており、それぞれの指標で営利を目的としない公益財団法人として普通以上から理想とする数字を維持している。</p>	B	<p>指定管理者独自に共通の会計システムを導入しており、会計事務所の指導の下、適正に処理されている。</p> <p>効率的な予算執行を心掛け、経費の縮減に努めていること、独自財源の確保に努め、安定した財政基盤が構築できている。</p>
総合評価	B	<p>貸館事業については、コロナ禍以前と比較して、ホール全体を使用する大規模な公演数が半減している。これについては、主催者側で集客数を制限していることが伺える。ただ昨年度と比較すると、使用件数、利用者数、使用率、使用料収入とすべての項目において増加傾向であり着実に復調の兆しを感じられる中、今後も引き続き必要な感染症防止対策を施した上で会館運営にあたることとする。一方、芸術文化事業については、年度当初の公演は、客席収容率は大声を出さない公演であってもお客様の安心・安全を第一優先としてソーシャルディスタン</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底のうえ、市民が利用しやすい施設環境の提供に努めた。</p> <p>市民が幅広い分野の芸術に触れ、楽しむ機会の充実を図るため、市民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供している。</p> <p>焼津文化会館との棲み分けを図り、地域密着型の事業を多く開催することで、地域のつながりの強化及び芸術文化を支えていく市民や団体の活動を支援した。</p> <p>このことから、全般的な運営について評価できる点が多く、一定の水準を満たした管理内容であると考えている。</p>

	<p>スを確保しグループ毎あるいは1席毎に空席を確保して開催したが、9月以降の公演は感染対策ガイドラインを遵守した上で100%にて開催した。また、平成4年開館以来継続して毎年開催していた「ピアノマラソン」「吹奏楽フェスティバル」「ミュージコフェスト」等のミュージコの代名詞ともいえる大規模な市民参加型及び普及・協働型事業について、規模的には多少見劣りするが、ほぼ以前と同様の内容で開催することができ、次年度以降継続開催するうえで大変意義があった。また、野外公演「ミュージコフェスト」については、野外ではあるが感染対策として来館の際に全員に検温、手指消毒の徹底及び氏名、連絡先を記録し対策を徹底した上で盛大に開催することができた。</p> <p>施設維持管理においては、平成4年開館から31年経過し施設・設備の老朽化が進んでいる。利用者に故障等理由で迷惑をかけることのないように心がけて日常点検にあたった結果、トラブルとなるような大きな故障の発生は無かった。</p> <p>経営分析指標も公益財団法人として理想とする数字を維持している。</p>	
--	---	--

【評価区分】

- 評価基準：A（優良）協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。
- B（良好）協定書、仕様書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。
- C（課題含）協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。
- D（要改善）協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。